

令和6年度

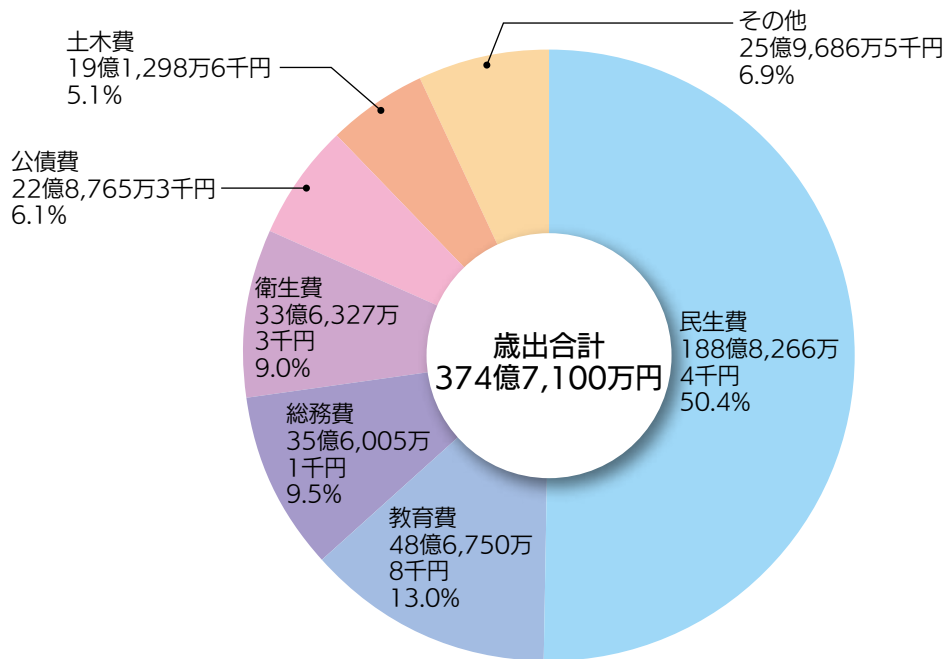
よ さん 予算

令和6年度の予算は、物価高騰による市民生活や社会経済への影響に対応しつつ、市民が住みたい・住み続けたいと思えるまちづくりを進めるため、第四次財政計画を規律として、第七次総合計画を推進する内容としています。

市民サービスに必要な予算を確保しつつ、経常経費の見直しを図った結果、対前年度比6.6%増の374億7,100万円の予算を計上しました。

問財政課

いっばんかいけいさいしゅつ 一般会計歳出 374億7,100万円 (対前年度比:23億3,500万円増)



用語解説

- **民生費** 子どもや高齢者、障がい者などの福祉の費用
- **教育費** 教育や文化、スポーツなどの費用
- **総務費** 行政の運営や戸籍、税金徴収などの費用
- **衛生費** 健康診断や予防接種、ごみ処理などの費用
- **公債費** 市の借金の返済などの費用
- **土木費** 道路や公園などの補修や建設などの費用
- **その他** 議会や農・商工業、消防などの費用

さいしゅつ おも ぞうげんないよう 歳出の主な増減内容

- **民生費** 9億8,576万4千円増
介護給付等事業、児童手当支給事務事業、児童福祉施設整備事業などによる増
- **教育費** 13億721万8千円増
中学校空調設備整備・改修事業、校務支援システム導入事業、特別支援教育推進事業などによる増
- **総務費** 1億5,401万9千円増
基幹系システム等管理・運営事業、コミュニティバス等運行事業などによる増

特別会計予算

国民健康保険などの事業は、保険料などの特定の収入によって行うため、一般会計とは、別に会計を設けています。

(単位:千円)

会計名	予算額
国民健康保険事業	10,053,060
住宅新築資金等貸付事業	2,228
奨学資金貸与事業	6,430
介護保険事業	7,562,280
後期高齢者医療事業	2,818,027
農業集落排水事業	186,235
二日市財産区	2,921
御笠財産区	29,979
平等寺山財産区	45,723
合計	20,706,883

公営企業会計予算

地方公営企業法の適用を受け、公営企業会計による独立採算制をとっています。

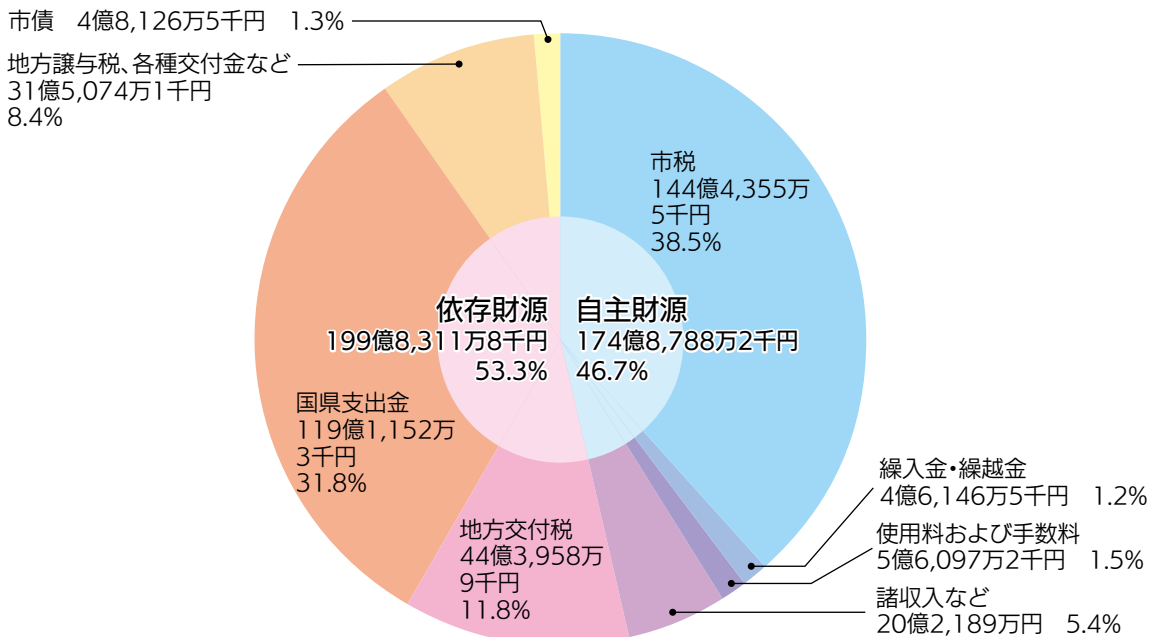
○水道事業会計 (単位:千円、消費税等込)

区分	収益的収支	資本的収支	合計
収入	2,100,322	260,502	2,360,824
支出	1,943,215	1,201,926	3,145,141

○下水道事業会計 (単位:千円、消費税等込)

区分	収益的収支	資本的収支	合計
収入	2,331,357	625,153	2,956,510
支出	2,127,818	1,039,335	3,167,153

一般会計歳入 374億7,100万円 (対前年度比:23億3,500万円増)



歳入の主な増減内容

- 市税 3億5,595万7千円増
個人市民税、固定資産税、たばこ税などの増
- 国県支出金 2億5,805万9千円増
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金などの増
- 繰入金・繰越金 3億1,624万8千円増
公共施設等整備基金繰入金などの増

用語解説

- 依存財源 国や県からの交付金や銀行からの借入金
 - 地方交付税 全国どこでも必要最小限の行政サービスが受けられるよう、国が交付するお金
 - 国県支出金 特定の事業のために国や県が交付するお金
 - 地方譲与税、各種交付金など 国や県が徴収した税金の一部を市に分配するお金
 - 市債 大きな事業を行うための銀行などからの借入金
- 自主財源 市が自主的に調達できるお金
 - 市税 市民税や固定資産税など
 - 繰入金・繰越金 基金からの繰入金や前年度からの繰越金など
 - 使用料および手数料 市営住宅などの家賃や公共施設の使用料など
 - 諸収入など 発掘調査受託事業収入や広告料など

令和6年度 実施する主な事業

企画政策課

政策① 人が生まれ、活躍できる子育て・教育のまちづくり

- 児童福祉施設整備事業 261,883千円
待機児童の解消を図るため、令和7年4月に開園する定員150人の認可保育所の整備を支援します。
- 拡大子ども医療費支給事業 55,201千円
10月から、入院時の自己負担額を中学生まで無料、通院時の自己負担額を小学生まで無料、中学生の上限を月額1,200円(1医療機関当たり)にするなど、子ども医療費の助成内容を拡充します。
- 学校管理運営事業 87,359千円
タブレット端末の効果的な活用や教職員の校務の効率化など校内ICT化を推進するため、新たにICT支援員を配置します。



▲タブレット端末を使っている授業

政策② 市民が織りなすスポーツ・文化のまちづくり

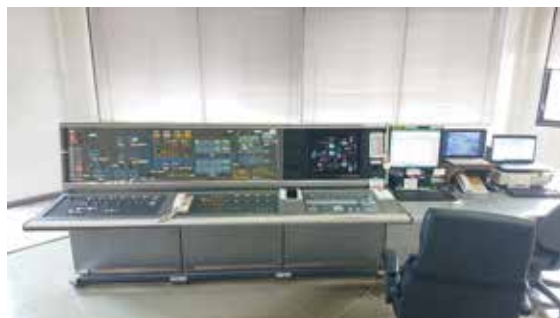


▲国指定史跡阿志岐山城跡第三水門

- スポーツ企画担当一般事務事業 6,247千円
指導者や団体の育成のための方策やスポーツ施設のあり方などを検討するため、筑紫野市スポーツ推進計画を策定します。
- 図書館運営事業 96,410千円
老朽化した図書館システムを更新し、利用者の利便性向上を図ります。
- 国指定史跡阿志岐山城跡保存活用計画策定事業 3,410千円
国指定史跡阿志岐山城跡の保存、管理、活用を進めるため、保存活用計画を策定します。

政策③ 自然をまもり未来を育むまちづくり

- 公共施設照明LED化事業 4,400千円
脱炭素化の推進および電気料金の縮減を図るため、公共施設の照明器具をLED照明器具に更新します。
- 愛護動物対策事業 1,800千円
飼い主のいない猫の発生を防ぐため、地域猫活動団体に対して不妊手術などに係る費用を補助します。
- 常松浄水場中央監視装置更新事業 149,460千円
安全な水道水を安定的に供給するため、老朽化が進む中央監視装置の更新および場外施設の一元化を図ります。
※水道事業会計予算に計上しています。



▲更新を行う常松浄水場中央監視装置

政策④ 強みをいかした多様な産業で賑わうまちづくり

- 地域活性化商品券補助事業 39,000千円
消費拡大や地域経済の活性化を図るため、筑紫野市商工会に補助金を交付しプレミアム付き商品券の発行を支援します。
- LPガス料金高騰対策事業 66,060千円
エネルギー価格高騰の影響を受けている家庭や事業所を支援するため、LPガス利用世帯・事業者に対しLPガス代の上昇分の負担軽減措置を行います。
- 水田農業担い手機械導入支援事業 9,619千円
水田農業経営に係る高性能機械などを導入する農業者に対し事業費の一部を補助し、農業の振興を図ります。



▲補助金で導入した農業用機械

政策⑤ 支えあい、暮らしに寄り添う健康・福祉のまちづくり



▲個別検診で早期発見・早期治療を

- 生活支援体制整備事業費 18,508千円
新たに生活支援コーディネーターを増員し、地域・関係機関などとの連携による担い手の育成に取り組むことによって、地域の支え合い活動の活性化を図ります。
※介護保険事業特別会計予算に計上しています。
- 保健事業(健康診査) 91,079千円
新しく子宮頸がん・乳がんの個別検診を導入し、疾病の早期発見・早期治療につなげます。
- 同和問題啓発事業 3,126千円
7月の同和問題啓発強調月間における活動をはじめ、あらゆる人権問題の解決に向けた取り組みを行います。

政策⑥ 安全安心で快適な暮らしを支えるまちづくり

- 市営鷺田川周辺治水対策事業 11,607千円
近年の集中豪雨における市営鷺田川周辺の浸水被害を軽減するため、現況を調査し、今後の治水対策を検討します。
- 非常備消防車両等更新事業 24,774千円
老朽化した筑紫野市消防団車両(御笠分団4号車)の更新を行います。
- コミュニティバス等運行事業 56,872千円
市民のニーズが高い公共施設、医療機関、商業施設との間を結ぶコミュニティバスおよび御笠自治会バスの運行を継続するとともに、令和6年度は地域の交通課題に対応するため、新たな公共交通サービス導入に関する実証実験を実施します。



▲コミュニティバス「つくし号」

政策⑦ 政策実現のための市民目線のまちづくり



▲市制施行20周年を記念して誕生したつくしちゃん

- 「つくしちゃん」積極活用事業 3,679千円
つくしちゃんデザインのリニューアルを行い、積極的に活用することで、市の魅力や認知度の向上を図ります。
- 自治体DX推進事業 2,563千円
市公式LINEアカウントの機能拡充や地図関連情報のデジタル化を推進することにより、市民の利便性向上と行政サービスの充実を図ります。